

国内初のエコトイレ お披露目会が開催されました



4月29日(祝)釣ヶ崎海岸に設置された排水を外に流さない公衆トイレのお披露目会が開催されました。記念イベントとして第2回99ビーチエコフェスタが同時に開催され、よさこいソーランやフラダンスなど様々な催しが行われました。新しいトイレは、ボランティアの皆さんのが中心となって清掃や管理を行います。清潔なトイレを維持するため皆さんのご協力をお願いします。



第2回協議会を3月16日に開催し、高齢者や障害者をはじめ誰もが安心して歩ける環境にするには、今後どう取り組んでいくべきかを審議しました。

一宮町は、上総一ノ宮駅を中心に四方1km以内に公共機関・金融機関・医療機関・商業施設などが集約されており、利用を足すのはこのエリアであろうと推定し、バリアフリー化を進める重点整備地区を左下地図(黒部分)のとおり定めました。

4月22日開催の第3回協議会では、この地区の調査報告及び道路や駅を実際に歩行し、実態調査を行いました。

※議事録、関係資料等を町ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

会議の報告

一宮町バリアフリー協議会

重点整備地区歩行体験の募集

バリアフリー重点整備地区の歩行体験を左記日程で行います。

より良いまちづくりのための率直なご意見をお聞きしたく、多くの方のご参加をお待ちしております。

特に、お近くにお住まいの方や日頃からご利用されている方など、是非この機会にご参加いただき、日常のお気づきの点などお聞かせ下さい。

■日時 ※小雨決行

6月6日(土)

9時20分保健センター前集合
9時30分保健センター前出発

11時 保健センター前到着
(到着後、アンケートにご回答頂き解散)

※参加申込みは、当日集合場所にて受付

■問合せ
まちづくり推進課(事務局)
電話 42-2113
メール machi@town.ichinomiyachiba.jp

4月22日に国土交通省関東運輸局千葉運輸支局にて平成21年度地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定式が行われ、一宮町が国庫補助事業として採択されました。

今年度は、一宮町全体の公共交通体系、公共交通空白地帯、住民のニーズを調査し、本町の実情にあつたコミュニティーバスや乗合タクシー等の公共交通手段を検討し、試行運行の基礎となる計画を策定し、平成22年度の試行運行を目指します。

つきましては町民の皆様にアンケート等のご協力やご意見を頂くことがありますので、よろしくお願ひ致します。

■問合せ
まちづくり推進課(事務局)
電話 42-2113
メール machi@town.ichinomiyachiba.jp

「三ノ輪ティバス」 運行に向けて



(5) 広報いちのみや

春の叙勲

旭日双光章受賞

元町議会議員
近藤善一さん (78)

内閣府から春の叙勲受章者が発表されました。今回、一宮町では元町議会議員の近藤善一さんが旭日双光章の栄誉に輝きました。

近藤さんは昭和49年、一宮町議会議員に初当選して以来8期32年の長年にわたり町議会議員を務め、この間、議会副議長、文教常任委員長、議会運営委員長、総務文教常任委員長を歴任し、町の発展と議会の円滑な運営に尽力されました。また、行政に対する高い識見と指導力を評価され、一宮町監査委員、一宮町都市計画審議委員会委員等の要職に就き、町の産業、福祉、教育の各分野において行政の良き相談役、お目付け役として優れた手腕を發揮し町政の進展及び住民生活の向上に多大な貢献をされました。

【コメント】

年金生活なので小額で恐縮ですが、一宮の為に利用いただければ幸いです。

【玉川町長】

定額給付金のお知らせと一緒にふるさと応援寄付を呼びかけたところ、たくさんの方から暖かいメッセージと寄付をいただき、感激しています。

皆様から寄せられた寄付金は、新しいまちづくりのために使わせていただきます。

一宮町では昨年からふるさと応援寄付の受付を開始したところです、今年度、4月の一ヶ月間だけで非常に多くの方から、ふるさと応援寄付をいただきました。

皆様からいただいた寄付金、そして暖かいお言葉を今後のまちづくりに生かしていきたいと思います。

寄付件数	寄付金額
13名	283,000円

ご寄付いただいた皆さん
温かいご支援
ありがとうございます！

「かずさ有機センター」
農林水産大臣賞を受賞

かずさ有機センター

平成20年度農業農村整備優良コンクールにおいて、一宮町と睦沢町が共同で行った事業が農林水産大臣賞を受賞しました。

この事業は、不要になったモミ殻と牛糞によつて堆肥を作る施設「かずさ有機センター」を開設し、農家から排出される資源の有効活用に取り組んだもので、今回の受賞は、この資源循環型農業が評価されました。

この事業は、不要になったモミ殻と牛糞によつて堆肥を作る施設「かずさ有機センター」を開設し、農家から排出される資源の有効活用に取り組んだもので、今回の受賞は、この資源循環型農業が評価されました。

この事業は、不要になったモミ殻と牛糞によつて堆肥を作る施設「かずさ有機センター」を開設し、農家から排出される資源の有効活用に取り組んだもので、今回の受賞は、この資源循環型農業が評価されました。

玉前神社の「お田植え祭」が4月29日、町内の水田で営まれました。

五穀豊穣を願い行われる、このお田植え祭は戦後途絶えていましたが約20年前に復活したそうです。今年も氏子の小中学生10人が白装束に赤たすきの早乙女を努め、田植え唄に合わせて、苗を一本ずつ丁寧に植えていました。

玉前神社お田植え祭



上総国一ノ宮さすが市

4月12日(日)玉前神社参道で「第3回上総国一ノ宮さすが市」が開催されました。

この「さすが市」は、地元の伝統芸能や工芸品などを紹介しようとNPO法人「さすが一の宮」が主催で、今回3回目を迎えるました。

約40店舗が参加し、東浪見甚句やパン演奏など、会場は大いに賑わいました。